

IGA 専門部会報告

2024 年 7 月 29 日
IGA 専門部会幹事会

1. IGA 専門部会会員数（2024 年 7 月 18 日時点）

117 名（2024.4 以後 1 名増）

2. IGA 関連情報

(1) IGA 新体制に係る情報

- 6 月 20 日に急遽 Sylvain Broglé 会長辞任の報告が Web サイトで行われた。6 月 27 日に新会長選出の理事会選挙が行われ、Bjarni Palsson 氏（アイスランド）が選ばれた。副会長は Suryantini 氏（インドネシア）。
- 新体制での運営方針等に関して特に新たな情報は無く、IGA 事務局からの連絡も無い。
- 毎年支払っている団体会員（Affiliated Member）の加盟費請求は、2024 年分についてはこれまで受けていない。
- 個人会員への会員証明発行などがまだ可能であるのかメールで問合せしていたが、それへの返信も無い状況。

3. アジア西太平洋地域支部（AWPRB）～アジア太平洋地熱協会（APGA）関係

(1) 会議実施（6 月 18 日：オンライン）

引き続き IGA から独立した組織（APGA）の設立に関する協議が行われた。

- ・概ね完成された定款（Constitution）（別紙）に基づく規約（Bylaw）の最終案化が進められている。加盟費の金額等は未定。
- ・現案ではメンバー構成は IGA に類似しており、日本地熱学会加盟の場合は団体会員（Institutional Member）になると思われる。団体会員は理事選挙で 3 票の投票権を持つ。団体会員の構成員は APGA 会員の資格を持つことになるが、個々人の便益などは未定。
- ・規約の完成を待たずに活動（Webinar など）を開始すべきとの意見が出ており、間もなく広報（団体設立意義等の宣伝）を含む活動が開始される可能性がある。
- ・現 AWPRB の解散手続き・予算処理などは継続中。

(2) APGA への学会としての加盟について

- IGA 専門部会幹事会としては、APGA の理念や活動方針を考慮すれば、日本地熱学会としての加盟を強く推奨したい。
- APGA は IGA とは異なる組織であるため、今後の加盟等の検討については、国際交流委員会にも情報を共有し、IGA 専門部会と共同で検討することを提言する。加盟する場合の学会内での担当部署にもついても共同で検討することとしたい。
- 加盟費の金額にも依るが、加盟費の負担については、IGA 専門部会のように部会メンバーのみから徴収する別予算ではなく、学会全体の予算からの負担が望ましいと考える（学会員全員が APGA 会員となる）。
- 加盟の最終承認は学会総会での決議が必要と考える。

以上

【別紙】

アジア・太平洋地熱協会（APGA）定款（Constitution）案の概要

団体の名称： Asia Pacific Geothermal Association Inc. (APGA)

団体登記国： ニュージーランド

管理組織： 委員会（Committee）を設置する。3～10名の委員（Officer）により構成。総会の議長を務める委員長（Chairperson）を選出する。

会員： 個人または各国の団体（national association）。各団体の構成員は自動的にAPGAの会員となる。

団体の目的：

- 地熱エネルギーの開発、および地熱エネルギーに関連する科学技術を促進・奨励する
- 加盟国間の地域協力を促進するための機関としての役割を果たす
- 地熱エネルギーに関わる人たちや、地熱エネルギーに関心を持つ企業団体にフォーラムを提供する
- あらゆる形態の地熱エネルギー、その恩恵・リスク・利用法・可能性についての情報を保有・入手可能にし、提供する
- 教育や研修を含むサポートサービスを実施・管理する
- この地域に共通する問題やトピックを発見し、解決策を見つけるための議論の場を提供する
- 地熱エネルギーに関連する事柄について、科学的、非営利、非政治的な意見を提供する
- 地域や国際的なフォーラムで会員の利益を擁護し、教育の重要性を強調し、地熱の探査・開発・管理の発展を促進する

加盟費： 未定